

大会宣言

全国連合小学校長会は、結成以来、我が国の小学校教育の充実・発展のため、真摯に研究と実践を重ね、着実にその成果を上げてきた。

本大会では、四年目となる大会主題「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」を掲げ、これまでの三大会の研究成果と課題を引き継ぎ、大会主題の実現を目指し組織をあげて鋭意努力して取り組んできた。

現在、あらゆる分野で知識基盤社会への進展やグローバル化が進行している。また、世界に類を見ないスピードで進む少子高齢化や絶え間ない技術革新等により、社会が激しく変化し、先を見通すことが困難な時代を迎えている。そのような中、我が国では、今後の社会の方向性として「自立」「協働」「創造」の三つの理念の実現に向けた生涯学習社会を構築することが求められている。一方、平成三十二年に開催される東京オリンピック・パラリンピックを一つの目途に、各分野において様々な取組が進められている。教育においては第二期教育振興基本計画が推進される中、次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめが示され、今年度末には学習指導要領が告示される予定である。

このような国の動向を注視しつつ、東日本大震災の教訓を生かし、「生きる力」を支える知・徳・体の調和のとれた子どもを育成することが学校教育の責務である。また、これからの厳しい挑戦の時代を乗り越え、自立・協働・創造を軸とした人々との絆や支え合う仕組みを重視する、人間性豊かな社会を実現するために、社会の変化に主体的に関わり、課題解決を図る豊かな創造性やしなやかな知性といった、新たな知を生み出す力を身に付けることが求められている。そのため、小学校教育においては、知識基盤社会に求められる知識・技能の不断の更新はもとより、伝統と文化に立脚し、高い志をもつ人間へと成長できるよう、他者と協働しながら豊かな未来社会の創造に挑む子どもを育成することが重要である。

私たち校長は、高知大会における副主題「社会の変化に主体的に関わり 共に豊かな未来社会の創造に挑む子どもを育成」を基盤に据え、小学校教育の推進に全力を傾注し、国民の信託に応えようとするものである。

ここに、第六十八回全国連合小学校長会研究協議会の総意に基づき、次の決意を表明し、その実現を期する。

記

- 一、新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成
- 一、社会の変化に主体的に関わり 共に豊かな未来社会の創造に挑む子どもを育成
- 一、確固たる教育理念に基づく創意と活力に満ちた学校経営の推進
- 一、「生きる力」の育成を目指した創意工夫ある教育課程の編成・実施・評価・改善
- 一、道徳教育を中核とし、命の尊厳を重視した心の教育の一層の充実
- 一、主体的に判断・行動し命を守る子どもを育成する防災教育の推進
- 一、学校の自主性・自律性の確立と家庭・地域社会との連携・協働による教育活動の充実
- 一、安全で安心できる教育環境づくりの一層の推進
- 一、校長自らの研鑽と、教職員の資質・能力の向上を図る現職教育の充実

右 宣言する。

平成二十八年十月二十八日

第六十八回全国連合小学校長会研究協議会高知大会